



平成 30 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ タ ッ プ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 航 陽
(コード番号：6172 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 山 崎 祐 一 郎
(TEL. 03-6459-4670)

ICO プラットフォーム「Metalist」事業化計画に関するお知らせ

当社は、ファイナンス事業の更なる拡大を目指し、国内外における ICO プラットフォーム事業開始に向けた準備を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。ICO 及び ICO プラットフォーム事業については、その規制上の取り扱いを明確化すべく、日本を含め各国で協議が継続しています。現在、当社は仮想通貨交換業登録に向けて申請準備を進める段階にあり、具体的な申請時期及び国内における本格的なサービス開始時期については未定です。

記

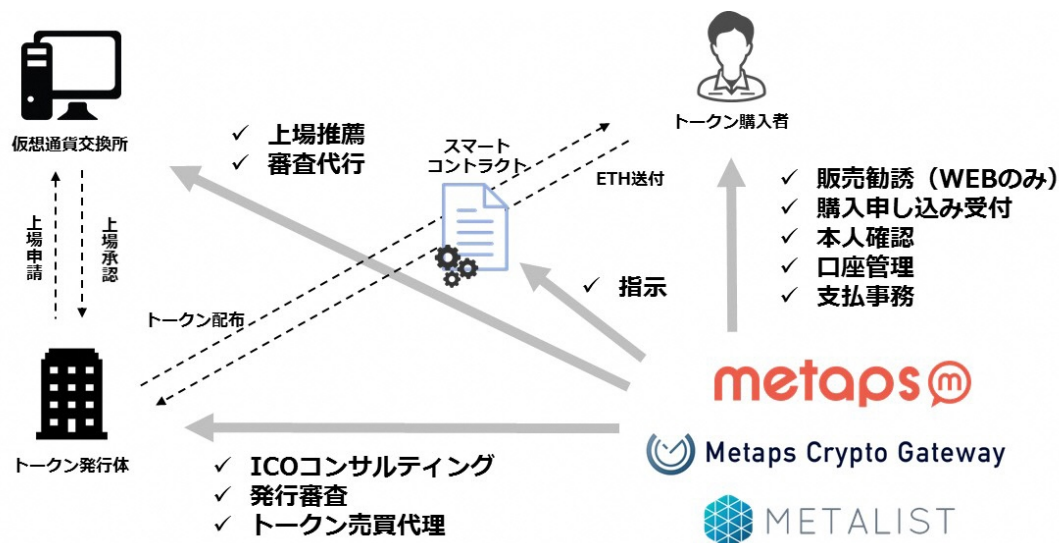
1. 内容

当社の連結子会社である Metaps Plus Inc. (本社:韓国ソウル 以下、「Metaps Plus」)は、2017 年 11 月 13 日公表の「当社海外子会社による ICO 及び仮想通貨取引所の設立に関するお知らせ」のとおり、2017 年 10 月に Initial Coin Offering (ICO) を実施し、現在は仮想通貨交換所「CoinRoom」のサービス拡充に向けて準備を進めております。2018 年 6 月には、スマート・コントラクトを活用した KYC 等、ユーザーの識別管理に関する特許を取得いたしました。同社は、これらの経験を活かし、ICO コンサルティング事業にも進出しており、直近では韓国 KOSDAQ 上場企業である Hanbit Soft Inc. がグループ会社である Bryllite Limited (香港) を通じて実施した約 50 億円規模の大型 ICO (8 月完了予定) においてコンサルティングサービスを提供しています。

ICO を検討する企業は国内外において増加傾向にあり、当社は、当社の 100%子会社である株式会社メタップス・クリプト・ゲートウェイ (MCG) の仮想通貨交換業登録申請の準備、及び国内における ICO プラットフォーム事業の準備を開始いたしました。

MCG は、仮想通貨取引の「場」を提供するのではなく、企業が正しく ICO を行うためのコンサルティング、健全な仮想通貨交換所の紹介、上場推薦・上場審査やトークンの売買代理まで、金融商品市場における証券会社に類似する役割・機能を果たすことを目指し、新サービス「Metalist」(<https://metalist.io/>) の提供を開始する予定です。

「Metalist」サービス構想（予定）



当社は、IT 技術や金融工学の進展に伴い、実需以上に金融経済が肥大化し、カネ余りによりお金の価値が下落する中で、価値の媒介手段としてのお金の機能も低下する一方、人間の感情、共感・信用といった観念的なものが、インターネットや SNS の普及によって可視化できるようになったことにより、新しい価値の媒介手段として重視される時代が到来すると考えており、「テクノロジーでお金と経済の在り方を変える」をミッションに掲げて事業を展開しております。仮想通貨は、短期間にバブルを思わせる値上がりを見せる中で、一部交換所から多額の仮想通貨が不正に流出したり、詐欺まがいの ICO が横行したりと、その信頼が根本から揺らぐ事態も頻発しています。また、ICO 市場の未熟さゆえ、現状、上場企業が ICO を実施した場合、会計処理が不明確・不安定であり、メリットは限定的であるとの見方もあります。

このような事業環境であるからこそ、企業が効率的にトークンを発行、交換所に上場でき、購入者が安心してトークンを購入できるプラットフォームへのニーズは今後グローバルで高まってゆくものと考えており、当社は、仮想通貨の健全な普及と発展のため、お金による資本主義と観念的な価値主義を繋ぐナビゲーターの役割を果たしてゆきたいと考えております。今後、韓国、日本での基盤をシンガポール、スイス、マルタ等に発展させることで、グローバル ICO プラットフォーマーとしての成長を目指して参ります。

2. 今後の見通し

本件に伴う当社の翌期以降の連結業績に与える影響は、軽微と見込んでおります。仮に開示すべき事項が発生した場合にはその内容を速やかにお知らせいたします。

以上